

変わらぬまちやんぐり!  
小郡市議会通信

公明党

まさみつ NEWS



田中まさみつ

田中まさみつ

希みが丘4丁目3-2  
連絡先 090-9721-7155  
masa-tnk2@ezweb.ne.jp

障害者福祉の充実

設置問から

皆様いつもお世話になります。3月11日東日本大震災が起り、多くの方が被災に遭われ今もなお安否不明の方々がたくさんおられます。この度の大震災により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧と復興をお祈りいたします。この震災で、國のあり方や政治の役割が問い合わせられ、新しい方向へと進み始めています。今からの日本に何が必ず

要なのが根本に立ち返り国民の目線でしっかりと国づくりに取り組んでほしいと願っています。今回の議会では、23年度の予算審査と、今後の10年を定める大変重要な小郡市第5次総合振興計画の審査などを取り組みました。今まで振興計画は基本構想のみが審査の対象でしたが、今回基本計画までを議会改革の一環として、議決事項に追加し審査しました。

詳しい内容は5月の「議会だより」に掲載いたします。障がい者自立支援法は、現在、廃止の方向で動いており、現在の政府の元に「障害者総合福祉法」を目指した、障がい者制度改革推進本部が設置されています。今回の自立支援法改正は、応益負担による低所得者の

今回の質問では、障害者支援について、いくつか政策提案いたしました。その中で、まず、発達障害児支援関係についてですが、昨年12月3日に、議員立法で提出されました。改正・障がい者自立支援法が、ねじれ国会の中では成立しました。

この法改正は公明党が原案を作り、平成21年3月に提出ましたが、2回の廃案となっています。廃案を乗り越え、各党を説得し今回、3度目の提案で成立いたしました。その取り組みには、障がい者団体からたくさんのお感謝の声が寄せられました。

この法改正は、障害者総合福祉法を作り、これまでの慣例を見直し、積極的な議会改革を行なっています。最近、今までにはなかつた他市から小郡議会への視察も増えております。私も先進事例を基に積極的に改革提案をしてきました。これからも新しい小郡市議会を目指し改革に取り組んでいきます。

平成十二年の地方分権一括法の施行により、地方公共団体は、国との上下・主従の関係から対等・協力の関係に制度が改正されました。しかし、受身で行われてきた自治運営の体質からなかなか脱却できず、旧態依然とした運営が続いています。これから地方に与えられた権限を最大限に發揮し、新しい、自立した自治体を形成してゆくことが求

められます。地方議会も、同じように、条例の制定権や議会の権限の及ぶ範囲が大幅に拡大されたことで、議員の政策立案能力の向上や市民への情報発信・意見の収集など、議員活動の充実が必要となっていました。これまで、行政の追従機関との批判が多くあった地方議会が、市民本位の立場から、同じ直接選挙で選ばれる、首長に対

今回の質問では、障害者支援について、いくつか政策提案いたしました。その中で、まず、発達障害児支援関係についてですが、昨年12月3日に、議員立法で提出されました。改正・障がい者自立支援法が、ねじれ国会の中では成立しました。

この法改正は、障害者総合福祉法を作り、これまでの慣例を見直し、積極的な議会改革を行なっています。最近、今までにはなかつた他市から小郡議会への視察も増えております。私も先進事例を基に積極的に改革提案をしてきました。これからも新しい小郡市議会を目指し改革に取り組んでいきます。



国がいう事後相談とは、子育て相談、心理発達相談、教育相談の3つを柱として、「子育て相談」は、発達障害に限らず、子育ての悩み一般に対応し、「心理発達相談」は子どもの発達の評価を行い、アドバイスを行うとともに必要によつて医療機関や療育機関を紹介する相談で、「教育相談」は就学予定の学校と保護者との連絡調整役的な相談

として、体制を整えることです。発達障害は、就学前の時期に発見されることが多い、病名を告げられた親が就学に向け大変重い不安を抱えます。合わせて症状が性格やしつけの問題として、親が責任を問われるこども少なくなく精神的にも大きな負担を背負うことがあります。診断をされた後の事後相談体制づくりは、親の不安軽減や適切な発達障害児への対応につながっています。小郡市においては、現在、こぐま学園への委託事業として対応がなされていますが、市の事業としては取り組みがなく、今後の相談体制作りをどのようにおこなって行くのか対応を尋ねました。

私も皆さんから頂いたご意見を基に市庁舎や市内のバリアフリーについて、多くの方々より具体的なご意見を頂いていたので、今回質問いたしました。

（バリア）が見受けられ、使い勝手の悪さを再認識いたしました。バリアを改善していく上では、実際に利用される障がい者の方や関係者の意見を的確に把握していくことが重要であり、施設の新設や改修事業における職員の意識も大変に重要となります。そこで、今回は、「バリアフリー総点検」に取り組んでいる他市の状況を伝え、小郡市における総点検をおこなって行くよう市長に要望いたしました。



本として、デザインの対象者を障がい者に限定せず誰も使えるデザインにしていくことをめざしていました。そのデザインの7原則は①どんな人でも公平に使えること②使う上で自由度が高いこと③使い方が簡単であること④必要な情報がすぐに分かること⑤うつかりミスが危険にならないこと⑥身体への負担がかかりづらいこと⑦接近や利用するための十分な大きさと空間を確保することの7項目です。

これは、デザインに関した事のようですが、誰もが使いやすいサービスや誰でも利用しやすい情報の提供など人と接するソフト面へもこの理念は広がっていきます。これから目指すべき新しい社会づくり、その中で、このユニバーサルデザインの考え方を根付かしていくことが大切だと思います。誰もが自立し安心して暮らしてゆける、ユニバーサル社会の実現を目指した自治体運営に乗り出した市町村も増え始めています。小郡市も職員の意識を変えてみるとたくさんの障害

（バリア）が見受けられ、使い勝手の悪さを再認識いたしました。バリアを改善していく上では、実際に利用される障がい者の方や関係者の意見を的確に把握していくことが重要であり、施設の新設や改修事業における職員の意識も大変に重要となります。そこで、今回は、「バリアフリー総点検」に取り組んでいる他市の状況を伝え、小郡市における総点検をおこなって行くよう市長に要望いたしました。

## 議会のインターネット生中継が視聴できます

小郡市議会では、議会改革の一環として情報公開を目的とした本会議場のインターネット中継を昨年9月議会から始めました。ご自宅のパソコンから小郡市のホームページ経由で本会議の様子が閲覧できます。

**議員ごとの録画検索も出来ます！  
是非、田中まさみつで検索してみてください！**

議会情報  
意見募集  
小郡市職工  
議員募集  
行動規範  
各課のページ  
ルール情報  
ふるさと納税(交付申請)  
議会おこなわれること  
市議会  
議会のインターネット中継  
小郡市人口  
(平成23年3月31日現在)  
59,134人  
(内戸数:38,406戸)

◎04/123・小郡市第1回定例会・議会比較会議(平成23年4月1日開催)
◎04/30・◆5月開成(成田)の本城半島の人口の日戸別
◎04/30・◆小郡市財政年度予算動向(予算外予算)
◎04/30・◆集中審議制度による議題(議題平成23年4月1日開成)
◎04/30・◆議員登録・会議監査会報告(議題平成23年4月1日開成)
◎04/30・◆議員登録セミナーの開催(議題平成23年4月1日開成)
◎04/30・◆税制特措法(平成23年4月1日)を通過しました。(議題平成23年4月1日開成)
◎04/30・◆税制特措法(平成23年4月1日開成)

記事が分からぬ場合は検索機能をご利用ください。

広報おこなり  
くらしの情報(分野から)  
くらしの情報(出来事)  
市民費・助成・戸籍  
健保・医療  
福祉・介護  
教育・生涯学習・文化  
子育て  
住まい・環境・ひいては農業・農業・観光  
各種・相談  
公共施設  
文化施設  
教育施設  
健康・福祉施設  
文化施設

録画中継

の本会議映像をご覧いただけます。

会議名から選ぶ  
議員名から選ぶ  
会派名から選ぶ  
用語で検索する

議会インターネット中継をクリック！

各項目から検索してください